

1.	①	11.	④	21.	③	31.	④	41.	③
2.	③	12.	①	22.	③	32.	③	42.	③
3.	④	13.	④	23.	①	33.	④	43.	③
4.	②	14.	①	24.	③	34.	①	44.	②
5.	②	15.	④	25.	②	35.	④	45.	④
6.	②	16.	①	26.	①	36.	③	46.	①
7.	②	17.	②	27.	④	37.	②	47.	②
8.	①	18.	④	28.	①	38.	④	48.	②
9.	④	19.	②	29.	①	39.	④	49.	④
10.	③	20.	③	30.	②	40.	①	50.	②

1.

解答 ①

【解説】

正解は①sponsor です。この動詞は、スポーツチーム、コンサート、番組などに対して、宣伝を目的として資金援助を行うことを意味します。The event was sponsored by several local companies. (そのイベントはいくつかの地元企業によって後援された)。②donate は「(慈善事業などに) ～を寄付する」、③invest は「(利益を期待して) ～を投資する」、④support は「～を支援する」というより広い意味の言葉です。

◆補足：sponsor は名詞としても「スポンサー、後援者」という意味で使われます。sponsorship はその「後援、スポンサー契約」を指します。語源はラテン語の spondere (厳粛に約束する) で、元々はキリスト教の洗礼における「名付け親」を指す言葉でした。

2.

解答 ③

【解説】

正解は③control です。この動詞は、機械や乗り物を「操作する」、ビジネスや組織を「管理・支配する」、あるいは自分自身の感情や行動を「抑制する」など、非常に広い意味で使われます。You need to learn to control your anger. (あなたは自分の怒りをコントロールすることを学ぶ必要がある)。

①contain は「～を含む」、②conduct は「(調査などを) 行う」、④connect は「～をつなぐ」という意味です。

◆補足：control は名詞としても「制御、支配、管理」という意味で重要です。take control of ~（～を支配下に置く）や lose control of ~（～を制御できなくなる）、under control（制御されて）といった表現は頻出です。

3.

解答 ④

【解説】

正解は④「驚くほど」です。surprisingly は、予想外であることや、人を驚かせるほどであることを示す副詞です。The exam was surprisingly easy.（その試験は驚くほど簡単だった）。①「明らかに」は obviously、②「ほとんど」は almost、③「主に」は mainly が適切な単語です。

◆補足：surprisingly は形容詞 surprising（驚くべき）の副詞形です。文頭に置いて、文全体を修飾することもできます。例：Surprisingly, he won the race.（驚いたことに、彼がレースに勝った）。動詞 surprise（～を驚かせる）や名詞 surprise（驚き）と合わせて覚えておきましょう。

4.

解答 ②

【解説】

正解は②「まもなく」です。before long は、今からあまり時間が経たないうちに、という意味で soon とほぼ同じ意味を表します。If we hurry, we'll be there before long.（もし急げば、まもなくそこに着くでしょう）。①「長い間」は for a long time、③「さようなら」は口語的な別れの挨拶で So long.と言います。④「結局は」は in the long run や eventually が適切です。

◆補足：long が「長い時間」を意味することから、before long で「長い時間が経つ前に」と考えると「まもなく」という意味につながりやすいでしょう。未来のことについて述べる文で使われるのが一般的です。

5.

解答 ②

【解説】

正解は②humid です。この形容詞は、空気中の湿度が高く、不快に感じられる「湿気の多い、蒸し暑い」天候を表します。It's very hot and humid today.（今日はとても暑く、湿度が高い）。①human は「人間の」、③humble は「謙虚な」、④huge は「巨大な」という意味です。

◆補足：humid の名詞形は humidity（湿度、湿気）です。日本の夏（Japanese summers）の気候を説明する際などによく使われる単語です。

6.

解答 ②

【解説】

正解は②various です。この形容詞は、種類や性質が「様々な、色々な」であることを示し、必ず複数形の名詞を修飾します。There are various ways to solve the problem. (その問題を解決するには様々な方法がある)。①serious は「深刻な、真剣な」、③curious は「好奇心の強い」、④precious は「貴重な」という意味です。

◆補足：various は動詞 vary (異なる、変わる) や名詞 variety (多様性) の関連語です。a variety of ~も「様々な～」という意味で various と似ていますが、a variety of ~は単数扱いにも複数扱いにもなれるのに対し、various ~は必ず複数扱いになるという文法的な違いがあります。

7.

解答 ②

【解説】

正解は②「報酬」です。reward は、良い行いや努力、あるいは情報提供などに対して与えられる「ほら、報酬、謝礼」を意味します。金銭的なものだけでなく、満足感など精神的なものも指します。

He received a reward for finding the lost dog. (彼は迷い犬を見つけたお礼に報酬を受け取った)。①「賞」は prize や award がより一般的です。③「罰」は punishment で、対義語です。④「危険」は danger や risk です。

◆補足：reward は動詞としても「～に報いる」という意味で使われます。rewarding という形容詞は「やりがいのある、報われる」という意味で、仕事や経験について述べる際によく使われます。a rewarding job (やりがいのある仕事)。

8.

解答 ①

【解説】

正解は①「特徴」です。feature は、物や人が持つ重要な部分や性質、すなわち「特徴、特色」を意味します。この例文は「この車の最も重要な特徴は、その安全性です」という意味になります。②「未来」は future、③「姿」は figure、④「冒険」は adventure が適切な単語です。

◆補足：feature は動詞としても使われ、「～を特集する、～を主演させる」といった意味を持ちます。例：The magazine featured an article on new technology. (その雑誌は新技術に関する記事の特集した)。また、顔の「目鼻立ち」という意味で複数形の features が使われることもあります。

9.

解答 ④

【解説】

正解は④「市販されて」です。on the market は、商品などが「市場に出されて、売りに出されて、市販されて」いる状態を表します。The new smartphone is finally on the market. (その新しいスマートフォンがついに発売された)。①「勤務中で」は on duty、②「電話中で」は on the phone、③「危険な状態で」は in danger が適切です。

◆補足：market は「市場」を意味します。その市場 (market) の上 (on) に商品が並べられているイメージを持つと覚えやすいでしょう。put ~ on the market で「~を売りに出す」という表現になります。

10.

解答 ③

【解説】

正解は③Artificial Intelligence です。AI は、人間の知的な能力 (学習、推論、判断など) をコンピュータで人工的に実現したもので、日本語では「人工知能」と訳されます。他の選択肢は、それらしく作られた架空の名称です。

◆補足：AI は現代社会の様々な分野で活用されており、ニュースや科学技術に関する英文で頻出する重要語です。Artificial は「人工的な」、Intelligence は「知能、知性」を意味します。AI technology (AI 技術) や AI research (AI 研究) といった形で使われることが多く、近年では Generative AI (生成 AI) という言葉もよく聞かれます。

11.

解答 ④

【解説】

正解は④battery です。この単語は、携帯電話やリモコン、電気自動車などに使われる「電池、バッテリー」を指します。a rechargeable battery (充電式電池) や a car battery (車のバッテリー) のように使います。①bottle は「びん」、②bucket は「バケツ」、③button は「ボタン」という意味です。

◆補足：battery は元々、軍事用語で「砲台 (大砲の一群)」を意味していました。そこから「一続きのもの、一式」という意味に広がり、複数の電池を直列につないだものが「バッテリー」と呼ばれるようになりました。今日では単一の「電池」も battery と呼びます。

12.

解答 ①

【解説】

正解は①**major in** です。この表現は、大学やカレッジで特定の科目を「専攻する」ことを意味します。**major** は名詞で「専攻科目」も指します。**She is majoring in economics at university.**（彼女は大学で経済学を専攻している）。②**succeed in** は「～に成功する」、③**believe in** は「～の存在や価値を信じる」、④**result in** は「～という結果になる」という意味です。

◆**補足**：**specialize in** ～も「～を専門にする」という意味ですが、大学の専攻だけでなく、医者や研究者などの専門分野についてより広く使われます。**major in** ～は、ほぼ学問の専攻に限定して使われる表現です。

13.

解答 ④

【解説】

正解は④「法律」です。**law** は、国や社会のルールとして定められた「法律、法」を意味します。**break the law**（法を破る）や **obey the law**（法に従う）といった形で使われます。①「役割」は **role**、②「列」は **row**、③「低い」は形容詞の **low** で、いずれも **law** と音が似ていますが意味は異なります。

◆**補足**：**law** は、**the laws of physics**（物理法則）のように、自然科学における「法則」という意味でも使われます。**lawyer**（弁護士）や **lawful**（合法的な）といった派生語も重要です。また、**law and order** で「法と秩序」という決まった言い方があります。

14.

解答 ①

【解説】

正解は①**because of** です。この前置詞句は、ある出来事の原因や理由を示します。後ろには名詞や動名詞が続きます。**The game was canceled because of the rain.**（雨のために試合は中止になった）。②**in spite of** は「～にもかかわらず」、③**instead of** は「～の代わりに」という意味です。④**because** は同じく理由を表しますが、後ろに「主語＋動詞」の節が続く接続詞です。

◆**補足**：**because of** と似た表現に **due to** や **owing to** があります。これらも「～が原因で」という意味ですが、**due to** の方がややフォーマルな響きを持ちます。また、良い理由を表すときには **thanks to**（～のおかげで）が使われます。文法問題では、後ろに名詞が来るか節が来るかによって **because of** と **because** を使い分ける問題が頻出します。

15.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を磨く」です。polish は、靴、家具、金属などの表面を布などでこすり、光沢を出すために「磨く」ことを意味します。He polished his shoes until they shone. (彼は靴をピカピカになるまで磨いた)。①「～を罰する」は punish、②「～を出版する」は publish、③「～を破壊する」は demolish です。これらはいずれも polish と音が似ているので注意が必要です。

◆補足：polish は、文章やスピーチなどをより良くするために「推敲する、洗練させる」という比喩的な意味でも使われます。I need to polish my speech before the presentation. (プレゼンの前にスピーチを推敲する必要がある)。名詞としては「つや出し剤」や「光沢」を意味します。

16.

解答 ①

【解説】

正解は①attach です。この動詞は、接着剤や留め具などで物を「取り付ける、くっつける」ことを意味します。また、Eメールにファイルを「添付する」という意味でも頻繁に使われます。Please attach your resume to the email. (Eメールに履歴書を添付してください)。②attack は「～を攻撃する」、③attempt は「～を試みる」、④attend は「～に出席する」という意味です。

◆補足：attach の名詞形は attachment (付属品、添付ファイル、愛着) です。be attached to ~で「～に愛着を持っている」という感情を表すこともできます。語源は古フランス語の attachier (釘で留める) で、a- (～へ) と tach (釘) に分解できます。

17.

解答 ②

【解説】

正解は②make A from B です。この表現は、原料(B)が加工され、見た目や性質が変わって製品(A)になる場合に使われます。例えば、Wine is made from grapes. (ワインはブドウから作られる) のように、ブドウがワインという全く別のものになる場合です。①make A of B は、見た目で材料がわかる場合 (例：a desk made of wood) に使います。③make A into B は「A を B に作り替える」という語順で使います。④make A for B は「B のために A を作る」という意味です。

◆補足：「～でできている」という表現の使い分けは重要です。◆of [材料]：見た目でわかる (a house made of stone)。◆from [原料]：加工されてわからない (cheese is made from milk)。◆out of [材料]：of と似ているが「～から取り出して作る」というニュアンスを強調する (a sculpture made out of ice)。◆up of [構成要素]：部分が全体を構成する (a team made up of experts)。

18.

解答 ④

【解説】

正解は④「緊張」です。**tension** は、人々が不安や怒り、興奮などでリラックスできない精神的な「緊張、緊迫状態」を意味します。また、国家間の「緊張状態」や、ロープなどがぴんと張っている物理的な「張り」を指すこともあります。①「注意」は **attention**、②「意図」は **intention**、③「情熱」は **passion** です。

◆補足：**tension** は、形容詞 **tense**（緊張した、ぴんと張った）の名詞形です。**the growing tension between the two countries**（その二国間の高まる緊張）のように使います。**relieve tension** で「緊張を和らげる」という意味になります。

19.

解答 ②

【解説】

正解は②**divide** です。この動詞は、全体を部分に「分ける、分割する」、あるいは数を「割る」という意味で使われます。**The teacher divided the students into four groups.**（先生は生徒たちを4つのグループに分けた）。①**provide** は「～を提供する」、③**decide** は「～を決める」、④**avoid** は「～を避ける」という意味です。

◆補足：**divide** の名詞形は **division**（分割、部門、割り算）です。**divide A into B** で「AをBに分ける」、**divide A by B** で「AをBで割る」という形は重要です。

20.

解答 ③

【解説】

正解は③「身元確認、身分証明書」です。**identification** は、「本人であることの確認、身元確認」という行為や、そのために使われる書類、すなわち「身分証明書」を意味します。例文は「何らかの形の身分証明書を提示する必要があります」となります。**ID** カードの **ID** はこの **identification** の略です。①「招待」は **invitation**、②「想像」は **imagination**、④「孤立」は **isolation** です。

◆補足：**identification** の動詞形は **identify**（～が誰であるかを確認する、～を特定する）です。**This is a form of photo identification.**（これは写真付きの身分証明書です）のように、具体的にどのような身分証かを説明する文脈でよく使われます。

21.

解答 ③

【解説】

正解は③**in response to** です。この前置詞句は、何かに対する「返答として」または「対応として」という意味を表します。**The company developed the new product in response to customer demand.**（そ

の会社は顧客の需要に応じて新製品を開発した)。①in relation to は「～に関して」、②in addition to は「～に加えて」、④in contrast to は「～と対照的に」という意味です。

◆補足：response は動詞 respond (応答する、返答する) の名詞形です。「応答、返答」という意味から、in response to ~が「～に応じて」という意味になることが理解しやすいでしょう。医学の文脈では、治療に対する体の「反応」を指すこともあります。

22.

解答 ③

【解説】

正解は③「～を引き受ける」です。take on ~は、仕事、責任、挑戦などを「引き受ける」という意味で使われます。この例文は「彼はマラソンを走るという挑戦を引き受けることに決めた」という意味です。①「～を雇う」や②「(様相を) 帯びる」も take on ~の意味ですが、この文脈には合いません。④「～を試す」は try out ~などです。

◆補足：take on ~の多義性を整理しましょう。①(仕事・責任などを) 引き受ける: take on a new project。②(人) を雇う: take on new staff。③(性質・様相などを) 帯びる: The situation took on a serious aspect。④(強敵) と対戦する: take on the champion。文脈に応じた意味の判断が重要です。

23.

解答 ①

【解説】

正解は①recognize です。この動詞は、過去に経験した人や物事を、再び見聞きした際に「それだとわかる、見覚え・聞き覚えがある」という意味で使われます。I didn't recognize you with your new hairstyle. (新しい髪形だったので、あなたが誰だかわからなかった)。②realize は「(事実を) 悟る」、③remember は「～を思い出す」、④remind は「～に思い出させる」という意味です。

◆補足：recognize は、功績などを公式に「認める、評価する」という意味でも重要です。Her work was recognized with a prestigious award. (彼女の業績は権威ある賞で認められた)。名詞形は recognition (認識、承認) です。

24.

解答 ③

【解説】

正解は③no more than です。この表現は only とほぼ同じ意味で、「～しか、たった～」と、話者がその数量を「少ない」と感じていることを強調します。There were no more than twenty people at the concert. (コンサートには 20 人しかいなかった)。①no less than は「～も」と多さを強調する表現で

す。②not more than は「多くても～、せいぜい～」、④not less than は「少なくとも～」という客観的な範囲を示します。

◆補足：no more than ～と not more than ～の区別は非常に重要です。no more than は「～しかない」という話者の主観（少ないという気持ち）が入るのに対し、not more than は「～以下である」という客観的な事実を述べます。例えば、I have no more than 1,000 yen. は「1000 円しかない（少なくてがっかり）」、I have not more than 1,000 yen. は「所持金は 1000 円以下だ（それより多いことはない）」となります。

25.

解答 ②

【解説】

正解は②order です。この単語は多くの意味を持ちますが、店やオンラインで商品やサービスを「注文」すること、またその「注文品」を指します。I'd like to place an order. (注文をお願いします)。

①border は「国境」、③owner は「所有者」、④offer は「申し出」という意味です。

◆補足：order の他の重要な意味も確認しましょう。①順序、順番：in alphabetical order (アルファベット順に)。②命令：follow an order (命令に従う)。③秩序：law and order (法と秩序)。動詞としても「～を注文する」「～に命令する」という意味で使われます。

26.

解答 ①

【解説】

正解は①connect です。この動詞は、二つのものを物理的に「つなぐ、接続する」、あるいは人や物事を「関連づける」ことを意味します。This bridge connects the island to the mainland. (この橋は島と本土をつないでいる)。②correct は「～を訂正する」、③collect は「～を集める」、④conduct は「～を行う」という意味です。

◆補足：connect の名詞形は connection (関係、つながり) です。be connected with/to ～で「～と関係がある」という受動態の形もよく使われます。語源はラテン語の con- (共に) と nectere (結ぶ) で、「共に結びつける」ことが元の意味です。

27.

解答 ④

【解説】

正解は④predict です。この動詞は、科学的なデータや過去の傾向など、何らかの根拠に基づいて未来の出来事を「予測する、予言する」という意味で使われます。It is difficult to predict the future. (未

来を予測することは困難だ)。①pretend は「～のふりをする」、②prefer は「～を好む」、③present は「～を贈る、発表する」という意味です。

◆補足：predict の語源は、pre-（前に）と dict（言う）で、「前もって言う」というのが元の意味です。名詞形は prediction（予測、予言）です。類義語の forecast は、天気や経済など、データに基づく「予報」や「予測」に使われることが多いです。expect は、起こる可能性が高いと「预期する、期待する」というニュアンスです。

28.

解答 ①

【解説】

正解は①「加える」です。add は、あるものに別のものを「加える、足す」という意味の最も基本的な動詞です。Please add your name to the list.（リストにあなたの名前を加えてください）。また、数字を「合計する」という意味もあります。②「尋ねる」は ask、③「行動する」は act、④「避ける」は avoid です。

◆補足：add A to B で「A を B に加える」という形が基本です。名詞形は addition（追加）で、in addition（さらに）や in addition to ~（～に加えて）という重要な熟語で使われます。対義語は subtract（～を引く）です。

29.

解答 ①

【解説】

正解は①make it possible to do です。これは make O C（O を C の状態にする）という第 5 文型の応用で、長い to 不定詞句を文末に置き、元の目的語の位置に形式目的語の it を置く構文です。The Internet has made it possible for us to work from home.（インターネットは私たちが家で働くことを可能にした）。②や④は文法的に誤りです。③allow は allow O to do の形はとりますが、allow it to be possible とは言いません。

◆補足：この make it + 形容詞 + for A to do の構文は非常に重要で、possible の他にも difficult, easy, important, necessary など様々な形容詞で応用できます。例：This rule makes it difficult for beginners to win.（このルールは初心者が勝つのを難しくしている）。

30.

解答 ②

【解説】

正解は②「～を遅らせる」です。hold up は多義的な句動詞ですが、この文脈のように交通機関や計画などが「～によって遅らされる」という意味で受動態でよく使われます。The traffic jam held me up.

(交通渋滞で私は遅れた)。①「～を持ち上げる」、③「～を強盗する」も **hold up** の意味ですが、文脈に合いません。④「～を我慢する」は **put up with ~** です。

◆補足：**hold up** の他の意味も重要です。①「～を持ち上げる、支える」：**Hold up your hand if you have a question.** (質問があれば手を挙げてください)。②「(強盗などが) ～を襲う」：**The gang held up a bank.** (そのギャングは銀行を襲った)。③「(例として) ～を掲げる」：**His work is often held up as a model.** (彼の作品はしばしば模範として掲げられる)。

31.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を設置する」です。**install** は、新しいソフトウェアをコンピュータに導入したり、新しい機器を使えるように取り付けたりすることを意味します。「(ソフトウェアを) インストールする、(機器を) 設置する」などと訳されます。**We need to install a new air conditioner.** (私たちは新しいエアコンを設置する必要がある)。①「～を主張する」は **insist**、②「～を侮辱する」は **insult**、③「～を教え込む」は **instill** です。

◆補足：**install** の名詞形は **installation** (設置、取り付け) です。語源は **in-** (中に) と **stall** (場所、馬屋) で、「特定の場所に据え付ける」というイメージです。

32.

解答 ③

【解説】

正解は③**fare** です。**fare** は、公共交通機関を利用する際に支払う「運賃、料金」を指します。**bus fare** (バスの運賃) や **train fare** (電車の運賃) のように使います。①**fee** は、専門家への報酬やサービスの「手数料、料金」を意味します。②**fine** は「罰金」です。④**toll** は、高速道路や橋などの「通行料金」を指します。

◆補足：**fare** という単語は、古英語で「旅、道のり」を意味する言葉に由来します。そこから「旅にかかる費用」→「運賃」という意味に発展しました。**How much is the fare to the airport?** (空港までの運賃はいくらですか?) という形でよく使われます。

33.

解答 ④

【解説】

正解は④**transport** です。この動詞は、人や物を、特に乗り物を使って長距離にわたり「輸送する、運ぶ」ことを意味します。**The goods will be transported by ship.** (その商品は船で輸送されるだろう)。

①**transform** は「～を変形させる」、②**translate** は「～を翻訳する」、③**transmit** は「(情報・病気など

を) 送る、伝える」という意味で、いずれも **trans-** (向こう側へ) という接頭辞を持つ単語ですが、意味は異なります。

◆**補足**：**transport** は名詞として、特にイギリス英語で「交通機関」という意味でよく使われます (例：**public transport** 公共交通機関)。アメリカ英語では **transportation** が一般的です。語源は **trans-** (横切って) と **portare** (運ぶ) で、「向こう側へ運ぶ」ことが元の意味です。

34.

解答 ①

【解説】

正解は①**tablet** です。この単語は、近年では特に、キーボードがなく大きなタッチスクリーンで操作する板状のコンピュータを指します。日本語の「タブレット」と同じ意味です。②**laptop** はノートパソコン、③**desktop** はデスクトップパソコン、④**projector** はプロジェクターを指します。

◆**補足**：**tablet** は元々、文字を書くための「書字板」や、薬の「錠剤」を意味する言葉でした。その平らな形状から、現在のタブレット端末も同じ名前と呼ばれるようになりました。文脈によってどの意味で使われているかを判断する必要があります。

35.

解答 ④

【解説】

正解は④**accomplish** です。この動詞は、困難なことや計画していたことを、努力の末に「成し遂げる、完了する」ことを意味します。**She accomplished her goal of climbing Mt. Fuji.** (彼女は富士山に登るという目標を達成した)。①**approach** は「～に近づく」、②**accept** は「～を受け入れる」、③**accompany** は「～に同行する」という意味です。

◆**補足**：**accomplish** の名詞形は **accomplishment** (達成、業績) です。類義語の **achieve** も「達成する」ですが、**achieve** が目標や地位などを手に入れることに焦点を当てるのに対し、**accomplish** は任務や作業を最後までやり遂げることに焦点を当てるニュアンスがあります。

36.

解答 ③

【解説】

正解は③「車輪」です。**wheel** は、車や自転車などについている円形の部品、すなわち「車輪、ハンドル」を意味します。**the front wheel** (前輪) や **steering wheel** ((自動車の) ハンドル) のように使われます。①「鯨」は **whale**、②「井戸」は **well**、④「笛」は **whistle** で、それぞれ発音が似ている単語ですが意味は全く異なります。

◆補足：behind the wheel または at the wheel は「(車を) 運転して」という意味の重要なイディオムです。wheels と複数形にすると、口語で「車」そのものを指すことがあります。例：I got new wheels. (新しい車を買ったよ)。

37.

解答 ②

【解説】

正解は②「巨大な、莫大な」です。enormous は、サイズ、量、程度などが「非常に大きい、巨大な、莫大な」ことを強調する形容詞です。an enormous building (巨大な建物) や an enormous amount of money (莫大なお金) のように使います。①「普通の」は ordinary、③「公式の」は official、④「神経質な」は nervous です。

◆補足：enormous の類義語には huge, vast, massive, giant, immense などがあり、いずれも「とても大きい」ことを表しますが、enormous は特に「規格外の大きさ」という驚きのニュアンスを含みます。語源はラテン語の e- (外へ) と norma (基準) で、「基準から外れている」ことが元の意味です。

38.

解答 ④

【解説】

正解は④「飛行、便」です。flight は、飛行機による「飛行」や、定期運行の「便」を意味します。flight number (便名) や a direct flight (直行便) のように使います。①「光」は light、②「戦い」は fight、③「洪水」は flood です。fight と flight は発音が似ているので注意しましょう。

◆補足：flight は、鳥や昆虫の「飛ぶこと」や、危険からの「逃走」という意味も持ちます。動詞 fly (飛ぶ) の名詞形として覚えておくと良いでしょう。a flight of stairs で「(一続きの) 階段」という意味になる特殊な用法もあります。

39.

解答 ④

【解説】

正解は④flexibility です。この単語は、計画や考え方、あるいは体などが、状況に応じて容易に変化したり曲がったりできる性質、すなわち「柔軟性、順応性、融通性」を指します。This job requires flexibility in working hours. (この仕事は勤務時間の柔軟性を要求される)。①stability は「安定性」、②responsibility は「責任」、③ability は「能力」という意味です。

◆補足：flexibility は形容詞 flexible（柔軟な、曲げやすい）の名詞形です。語源はラテン語の flectere（曲げる）で、reflect（反射する）や deflect（そらす）と関連があります。身体的な「柔軟性」だけでなく、考え方やスケジュールの「融通性」など、抽象的な意味でも広く使われます。

40.

解答 ①

【解説】

正解は①calculate です。この動詞は、数学的な演算によって数値を「計算する、算出する」ことを意味します。Can you calculate the total cost?（総費用を計算できますか?）。②circulate は「循環する」、③articulate は「～をはっきり述べる」、④speculate は「～だと推測する」という意味です。

◆補足：calculate の名詞形は calculation（計算）です。a calculator は「電卓」を意味します。類義語の compute も「計算する」ですが、より複雑な計算やコンピュータによる計算を指すことが多いです。estimate は「～を見積もる、推定する」という意味で、正確な計算ではなく概算を出すニュアンスです。

41.

解答 ③

【解説】

正解は③「～をざっと見る」です。scan は、文章などから特定の情報を探するために「ざっと目を通す」、あるいは全体像を把握するために「ざっと見る」ことを意味します。I scanned the newspaper for articles about the election.（私は選挙に関する記事がないか新聞にざっと目を通した）。①「～をじっと見つめる」は stare at ~、②「～をちらっと見る」は glance at ~、④「～を見渡す」は look over ~などが適切です。

◆補足：scan は、スキャナーで文書や画像を読み取ってデジタル化する「スキャンする」という意味でもおなじみです。また、医療の分野で、CT スキャンなどのように体の中を「検査する」という意味でも使われます。

42.

解答 ③

【解説】

正解は③obvious です。この形容詞は、誰にとっても見たり聞いたり、理解したりするのが容易で、「明らかな、明白な」ことを表します。The answer to the question was obvious.（その問題の答えは明白だった）。①objective は「客観的な」、②obliged は「感謝している、義務がある」、④obscure は「不明瞭な、分かりにくい」で、obvious の対義語にあたります。

◆補足：obvious の副詞形は obviously (明らかに) で、会話で「もちろん、当然」というニュアンスでよく使われます。類義語の clear や apparent も「明らかな」と訳せますが、obvious は「疑う余地がないほどはっきりしている」という強い確信の度合いを示します。

43.

解答 ③

【解説】

正解は③spray です。この動詞は、殺虫剤、ペンキ、水などの液体を、スプレー缶や噴霧器を使って霧状に「吹きかける」ことを意味します。She sprayed perfume on her wrist. (彼女は手首に香水を吹きかけた)。①spill は「(液体を誤って) こぼす」、②spread は「～を広げる、塗る」、④pour は「(液体を) 注ぐ」という意味の動詞です。

◆補足：spray は名詞としても「スプレー、噴霧 (器)」という意味で使われます。a can of hair spray (ヘアスプレー1 缶) や nasal spray (点鼻スプレー) など。

44.

解答 ②

【解説】

正解は②point out です。この句動詞は、重要な事実や間違いなどに、相手の注意が向くように「指摘する」ことを意味します。She pointed out several mistakes in my report. (彼女は私の報告書にあるいくつかの間違いを指摘した)。①figure out は「～を理解する」、③find out は「～を見つけ出す」、④carry out は「～を実行する」という意味です。

◆補足：point out は、文字通り指 (point) を差して「指し示す」という物理的な動作を表すこともできます。また、that 節を続けて、He pointed out that we were running out of time. (彼は我々に時間がなくなりかけていることを指摘した) のように使うこともできます。

45.

解答 ④

【解説】

正解は④「公式の」です。official は、権威ある組織や地位にある人によって認可された、または発表された「公式の、公の」という意味の形容詞です。an official announcement (公式発表) のように使います。①「人工的な」は artificial、②「事務的な」は clerical、③「任意的な」は optional です。

◆補足：official は名詞としても使われ、「役人、公務員、職員」を意味します。a government official (政府の役人)。office (事務所、役所) という単語と関連付けて覚えると良いでしょう。

46.

解答 ①

【解説】

正解は①「感知器」です。sensor は、熱、光、動き、圧力などの物理的な変化を検知し、信号を送る装置、すなわち「センサー、感知器」を指します。an infrared sensor（赤外線センサー）のように使われます。②「検閲官」は censor、③「先輩」は senior、④「中心」は center で、いずれも発音が似ている単語なので注意が必要です。

◆補足：sensor は、動詞 sense（～を感じる）に、物や人を表す接尾辞-or がついた形です。「感じるもの」という成り立ちを覚えておくとよいでしょう。現代のテクノロジーに関する文脈、特にロボットや自動運転車などの話題で頻出する単語です。

47.

解答 ②

【解説】

正解は②come up with です。この句動詞は、新しいアイデアや計画、解決策などを「思いつく、考え出す、提案する」という意味で非常によく使われます。She came up with a great idea for the new project.（彼女は新しいプロジェクトのための素晴らしいアイデアを思いついた）。①catch up with は「～に追いつく」、③put up with は「～を我慢する」、④keep up with は「～に遅れずについていく」という意味の重要な句動詞です。

◆補足：come up with の up には、考えが下から上へ「現れ出る」ようなイメージがあります。with の後ろには idea, plan, solution, answer といった名詞が来ることが多いです。

48.

解答 ②

【解説】

正解は②「～に基づいている」です。be based on ~は、物語、意見、理論などが、ある事実や考えを「基礎としている、～に基づいている」ことを示す表現です。The movie is based on a true story.（その映画は実話に基づいている）。①「～に厳しい」は be hard on ~、③「～に熱中している」は be keen on ~、④「～に依存している」は be dependent on ~がそれぞれ適切です。

◆補足：base は名詞で「土台、基礎」、動詞で「～の基礎を置く」という意味です。この動詞の受動態が be based on ~です。日本語でも「～ベース」と言うように、何か物事を考える上での「土台」となるものを指し示すときに使われます。

49.

解答 ④

【解説】

正解は④「方法」です。manner は、物事が行われる「やり方、方法」や、人の「物腰、態度」を意味します。in a ... manner の形で「～な方法で、～な態度で」と副詞句を作ります。例文は「以下の方法で用紙にご記入ください」となります。①「大邸宅」は manor で、スペルが異なります。②「行儀」は通常、複数形の manners で表します。③「態度」は attitude がより一般的です。

◆補足：manners（行儀、作法）は、table manners（テーブルマナー）や good manners（行儀が良いこと）のように使われる重要語です。単数形の manner が「方法」を指すことが多いのに対し、複数形の manners は「行儀」を指すと覚えておくと区別しやすいでしょう。

50.

解答 ②

【解説】

正解は②software です。コンピュータの物理的な部品である「ハードウェア」に対して、その上で動作するプログラムやアプリケーション全体を指します。word processing software（ワープロソフト）のように使います。①hardware は対義語で、コンピュータ本体や周辺機器などの物理的な装置を指します。③network はコンピュータ同士の通信網、④malware は悪意のあるソフトウェアを意味します。

◆補足：software は、形のないプログラムの集合体であるため、不可算名詞として扱われます。したがって、a software や many softwares とは言わず、a piece of software や some software のように表現する点に注意が必要です。
